

供血者への検査依頼及び医療機関への情報提供の在り方について
(案)

1 供血者への事後検査依頼

医療機関からの感染症副作用報告により、感染が疑われる患者に提供された輸血用血液製剤に係る供血者について、当該保管検体が個別NAT陰性であっても、感染の拡大防止及び当該患者の感染と輸血との関係確認のため、当該供血者が再度献血に来るのを待つことなく、「献血して下さる皆様へ（別紙案参照）」に記載の上、日本赤十字社から感染症検査を依頼する。

なお、検査依頼の実施に当たっては、個別事例での検討事項が多い一方、迅速な対応が求められることから、当面、以下の供血者を対象とする。

- ① 当該患者が、輸血前後の感染症検査で陽転している場合
- ② 〃 HBV又はHCV感染症（疑い含む）である場合（HIVは除く）
- ③ 〃 死亡又は劇症肝炎などの重篤な症例である場合
- ④ 「献血して下さる皆様へ」に掲載する以前も含む（ただし、相応の周知期間をおく）

また、当該供血者を対象としても判断の難しい個別事例として、①未成年の場合、②検査結果通知を希望しない場合、③検査依頼に対して拒否された場合等の取扱については、適宜、安全技術調査会等で検討していただく。

2 同一供血者由来血液製剤を供給した医療機関への情報提供

医療機関からの感染症副作用報告により、感染が疑われる患者に提供された輸血用血液製剤に係る供血者に由来する血液製剤を既に他医療機関へ提供していた場合は、これまで死亡例又は劇症化例に限定して、当該情報を該当医療機関に対して提供していたが、本年7月30日付「血液製剤の遡及調査について（通知）」により「遡及調査ガイドライン」が適用される8月15日以降は全例について対象となる。

なお、この場合情報提供の対象となる期間を本年4月以降まで遡ることとする。

3 国としての今後の取組

今後は、これらの取組のほか、9月9日の適正使用調査会で了承いただいた「輸血前後の感染症検査の実施」に伴う日本赤十字社、医療機関及び検査機関での対応も含め、遡及調査に係る全過程の手続きを明示した「遡及調査ガイドライン（仮称）」を年内を目途に国として作成する予定である。



献血申し込みされる前に (お願い) (案)

献血へのご協力を心から感謝いたします。献血前にお読みいただき、
ご不明な点は職員におたずねください。

輸血は、患者さんの命を救う手段として行われます。
患者さんの安全のため、安心して輸血を受けられるような献血をお願いします。
以下に該当する方は献血をご遠慮ください。

- (1) エイズ (HIV) 検査が目的の方
(エイズ検査結果はお知らせしていません)
- (2) この1年間に、よく知らない人や性風俗関係の人との
性的接触があった方
- (3) 男性の方でこの1年間に、男性と性的接触があった方
- (4) この1年間に、麻薬・覚せい剤を使用した方
- (5) 輸血や臓器の移植を受けたことがある方
- (6) B型やC型の肝炎ウイルスやエイズウイルスの保有者
(キャリア) と言われた方
- (7) 梅毒、C型肝炎、マラリアにかかったことがある方
- (8) 海外から帰国 (入国) して4週間以内の方
- (9) 昭和55年 (1980年) 以降、ヨーロッパに長期間
滞在 (居住) された方
(詳しくは受付におたずねください)
- (10) この3日間に出血を伴う歯科治療 (歯石除去を含む) を
受けられた方

STOP


エイズ検査目的


不特定との性的接触


麻薬・覚せい剤


輸血・臓器移植


ウイルスキャリア・梅毒


帰国後4週間以内


ヨーロッパ滞在歴


3日以内の歯科治療
(出血あり)

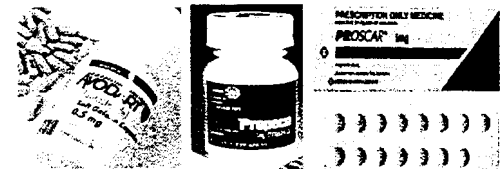
※以下の育毛医薬品 (錠剤) の服用は一定期間献血をご遠慮ください。

① AVODART (アボダート) (成分: dutasteride、製造: Glaxo Smith Kline 社) …… 6 カ月間

② PROPECIA (プロペシア) (成分: finasteride、製造: Merck 社) …… 1 カ月間

③ ROSCAR (プロスカ) (成分: finasteride、製造: Merck 社) …… 1 カ月間

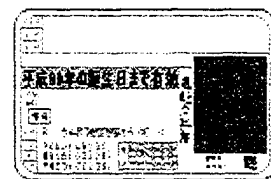
※医師の指示がない医薬品等を服用されている場合は、必ず問診の際にお申し出ください。



上記以外にも患者さんや献血される方の安全を確保するため、検診医の判断により献血をご遠慮いただくことが
あります。

献血いただく前に（お知らせとお願い）（案）

献血して下さる皆様へ



○献血前に

- (1) お名前、生年月日、住所、電話番号は正確にお書きください。
- (2) ご本人の確認のため、運転免許証などの提示をお願いすることがあります。
- (3) 問診票の質問には正確にお答えください。
- (4) プライバシーは厳守いたします。
- (5) 献血前にお知らせください。（献血後に高所作業や激しいスポーツ、自動車の運転等をされる方）特に乗り物の運転を予定されている方は、献血後に十分な休憩（30分以上）を取っていただきます。
- (6) 献血前に水分（スポーツドリンク等）を補給してください。

○献血時は

- (1) 200mL・400mL 献血では10分から15分位、成分献血では40分から90分位の採血時間がかかります。
- (2) 血圧や血液の濃さ（血液比重またはヘモグロビン）を測定します。
- (3) 採血針は、一人ずつの使い捨てとなっています。
- (4) 針を刺したときの痛みがいつまでも続いたり、強い痛みがある場合、すぐにお近くの看護師、医師等にお知らせください。
- (5) 採血中や採血後に気分不良やめまい、皮下出血等が起こることがあります。いずれの場合も、がまんをせずにお近くの看護師、医師等にお知らせください。
 - ・気分不良、吐気、失神は約0.7%、皮下出血は約0.2%、神経損傷（知覚・運動障害）は約0.01%の発生率です。
 - ・採血針を刺した箇所に針跡が残ることがあります。

○献血後は

- (1) 献血終了後には、十分に水分（スポーツドリンク等）を補給し、10分以上休憩してください。

○献血いただいた血液は

- (1) 献血いただいた血液が採血装置等の不具合・不良により輸血に使用できなくなることがあります。
- (2) 次の検査を実施し、不適と判断されれば輸血に使用しません。
 - ・血液型（ABO式、Rh式）、不規則抗体、梅毒、HBV（B型肝炎ウイルス）、HCV（C型肝炎ウイルス）、HIV（エイズウイルス）、HTLV-1（ヒトTリンパ球向性ウイルス-1型）、ヒトパルボウイルス B19、ALT（肝機能）
 - ・必要により、赤血球の詳しい型、白血球抗原（HLA）、血小板抗原、血漿蛋白、CMV（サイトメガロウイルス）の検査を実施することがあります。
- (3) 患者さんの血液型と正確に合わせるため、通常の血液型検査に加えて、赤血球型、白血球型や血小板型の遺伝子検査を行う場合があります。

なお、その他の遺伝子検査をご本人の承諾を得ずに行うことはありません。
- (4) 健康管理に役立っていただけるよう、肝機能などの生化学検査、赤血球数などの血球計数検査（400mL 献血・成分献血の場合）を実施しております。
- (5) 献血していただいた血液の一部を、輸血副作用・感染症などの調査のために10年間冷凍保管しています。
- (6) 献血していただいた血液は、輸血用以外にも、輸血医療の研究や検査試薬の製造等に有効に活用させていただくことがあります。

○ご協力ください

- (1) あなたの血液を含めた輸血を受けた患者さんについて、感染症などの報告があった場合、輸血医療の安全性向上と献血者ご自身の健康管理のため、検査のための採血に再度ご協力をお願いする場合があります。
- (2) 献血された方に「輸血を受けられる患者さんのために」という印刷物をお渡しします。これをよくお読みになって、思い当たる場合は、必ず本日中に血液センターへお電話ください。

献血後のお願い（案）

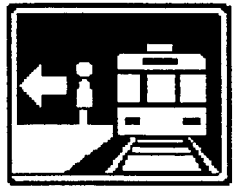
○献血当日の過ごし方

献血後は、水分の補給と休憩（少なくとも10分以上）をおとりいただきます。

電車でお帰りの際、転落防止のため駅のホームでは線路の近くで電車を待たないでください。（気分不良、失神などはじっと立っている時に発生するといわれています）

さらに献血当日は次のようなことをお願いいたします。

- 水分 ジュース（スポーツドリンク）、お茶などで十分補給してください。
- 煙草、酒 献血直後はさけてください。
- 運動 水泳、マラソンなど激しいスポーツはさけてください。
- 運転 乗り物を運転される場合は、その前に十分な休憩をおとりください。
- 入浴 2時間以内は避けてください。
- 採血側の腕に強い力がかからないようお願いいたします。



水分補給



休憩



飲酒



喫煙



スポーツ



重労働



エレベーター・階段

○気分が悪くなったら



緊張感の強い場合やその日の体調によっては、採血に伴い気分が悪くなったりめまいがすることがあります。そのような場合はすぐに座るか、横になってください。通常は頭を低くして30分程度安静にするだけで軽快します。

また、採血後の腕の痛みなど何かご心配なときは、直ちに血液センターまでご連絡ください。

○献血後、血液が元にもどるまでの期間

- 400mL 献血では3～4週間
- 血漿献血では数日間
- 血小板献血では約1週間



鉄分を含む動物性蛋白質や野菜などを組み合わせたバランスの良い食事をおすすめします。

（例えばアサリの水煮缶、ひじきの煮物、卵、豚・鶏レバー、納豆、ほうれん草などです。）

※コーヒー、紅茶、緑茶に含まれるタンニン酸は鉄分の吸収を阻害します

○お知らせください（日本の輸血用血液の安全を確保するためのお願いです）

献血後、3週間以内にSARSと診断された又はSARSの疑いがあると診断された場合

○赤十字血液センター Tel XXX-XXX-XXXX（又は主治医に献血した旨をお伝えください）

（その他の何らかの病気に罹っていることがわかった場合もご連絡ください）

＋ ○○○赤十字血液センター

移動採血車の運行予定や献血ルームのご案内などはホームページでもご覧いただけます。

(<http://www.----->)

献血ルームのご案内

- 赤十字血液センター XXX-XXX-XXXX
- 献血ルーム XXX-XXX-XXX, ○献血ルーム XXX-XXX-XXX
- 献血ルーム XXX-XXX-XXX, ○献血ルーム XXX-XXX-XXX, ○献血ルーム XXX-XXX-XXX

献血後のお知らせ（検査結果）（案）

血液センターでは、献血いただいた血液を輸血に使えるかどうかを判定するため、種々の検査を行っています。献血いただく前に、検査結果通知のご希望の有無をお伺いしています。

（結果は献血後1ヶ月以内に親展にてお届けします）

1. 検査で異常を認めた場合お知らせする項目

- B型、C型肝炎ウイルス検査
- 梅毒検査
- HTLV-I検査（エイズ検査ではありません）*

2. 検査サービス項目

- 血液型検査、生化学検査
- 血球計数検査（400mL及び成分献血）

*HTLV-I：エイズウイルス(HIV)とは全く関係ありません。

HTLV-Iは古くから普通に存在してきたもので、主に人の白血球に感染するウイルスの一つです。

HTLV-Iの感染経路として①母乳②性交渉③輸血が指摘されています。日本ではおよそ120万人の方がこのウイルスを保有していると推定され、まれにこのウイルスに関連する疾患を発症する方がありますが、ほとんどの方は生涯、関連疾患を発症することなく過ごされています。

より安全な輸血医療のために

○エイズや肝炎は、主に性交渉により若い世代に感染が広がっています

エイズウイルス(HIV)や肝炎ウイルス(HBV,HCV)を保有している人との性交渉や、注射器を共用し麻薬などを使用した場合に、エイズや肝炎のウイルスに感染する恐れがあります。

下記はいずれもこれらの危険性が高い行為です。該当する場合は献血いただけません。

- a) 不特定の異性との性的接触
- b) 男性の方：男性との性的接触
- c) 麻薬、覚せい剤を注射した
- d) 上記該当者との性的接触

○検査目的献血をお断りする理由

エイズウイルスや肝炎ウイルスの感染初期は、強い感染力を持つにもかかわらず、最も鋭敏な検査法を用いても検出できない期間が存在します。

エイズウイルスなどの感染に不安があり、検査により確認したいとするあなたの血液が、患者さんにウイルスを感染させてしまうことになります。

○エイズ検査施設

エイズ検査をご希望の方は最寄りの保健所にお問合せください。「HIV検査・相談マップ」(<http://www.hivkensa.com>) ([iモードwww.hivkensa.com/i/](http://www.hivkensa.com/i/))では、保健所など検査機関の情報が掲載されています。保健所ではエイズ検査を匿名で受けることができ費用は無料です。

○再検査をお願いする場合があります

あなたの血液を輸血された患者さんが、感染症などを発症された場合、輸血医療の安全性向上とあなたご自身の健康管理のために、検査用血液の採血に再度ご協力をお願いする場合があります。

○400mL・成分献血にご協力を

輸血によるウイルス等の感染を減らすためには、できるだけ少人数の方の血液を輸血することが望ましいため、是非ご協力をお願いいたします。

